

# グラウンド・ゴルフ競技会実施要項

## 1. 競技規則

(公財)日本グラウンド・ゴルフ協会制定のルール、及び本大会の申し合わせ事項を適用する。

## 2. 参加区分

障がい、男女、年齢の区分を問わない。

## 3. 服 装

運動に適した服装とする。

## 4. 練 習

大会当日の競技場内での練習は不可とする。

## 5. 招 集

(1) 招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。

(2) 招集完了時間は試合開始の10分前とする。

## 6. 競技方法

### (1) チーム編成

① 1チームの編成は、6名以上9名以内とする。

② プレーヤーのうち1名をキャプテンとする。

③ 他に責任者、記録員をそれぞれ1名置く。

### (2) エチケット

① プレーヤーは、自分のプレーが終わったら、すみやかに次のプレーヤーの妨げにならない場所に行く。

② プレーヤーが打つ前後は、話したり、ボールやポストの近くあるいはボールやポストの直後に立ったりしてはならない。また、自分たちの前に行く組が終わらなくては、ボールを打ってはならない。

③ プレーヤーは、自分の作った穴や足跡を全部なおしていかなければならない。

### (3) ゲーム

① ゲームは、ボールを決められた打順に従ってスタート位置から打ち始め、ホールポストに入れるまでの(ストローク)総打数を競う団体競技とする。選手全員がプレーし、そのうち上位6名のスコアを合計し、少ないチームから1位・2位・3位とする。打数が同じ場合は、最少打数の多いチームが上位となる。

② 個人競技は、団体競技出場者で前・後半に出場した者の中から1・2・3位を表彰する。

### (4) 用具

① クラブ、ボール、ホールポストは、グラウンド・ゴルフ用を使用すること。

② クラブ及びボールは、参加チームで用意する。

### (5) 競技中の練習

プレー中のプレーヤーはいかなる打球練習も行ってはならない(本条の反則は1打付加する)。

### (6) 援助

プレーヤーは打つとき物理的援助、あるいは風雨の防護を求めたり受けたりしてはならない(本条の反則は1打付加する)。

### (7) ボールはあるがままの状態競技する

ボールが長い草、または木の茂みなどの中にあるときは、ボールの所在と自己のボールであることを確かめる限度においてのみ、これらのものに触れることができ、草を刈ったり、木の枝を折ったりしてはいけない(本条の反則は1打付加する)。

### (8) ボールの打ち方

① プレーヤーが1打でボールを2回打ったときは、2打と数える。ただし、空振りの場合は打数に数えない。

② プレーヤーは打つときに木などで足場を作ってはならない(本条の反則は1打付加する)。

- (9) 紛失ボールとアウトボール  
ボールが紛失したり、コース外（溝などに落ちた場合）に出た場合、プレーヤーは1打付加し、出た位置からクラブの長さの範囲内でホールに近寄らないで、打球可能な箇所にボールを置いて次の打を行わなければならない。
- (10) プレーの妨げになるボール  
プレーの妨げになるボールは、一時的に取り除くことを要求することができる。その際、ホールに対してボールの後方にマークし取り除かなければならない（マーカ―は各自で用意する）。
- (11) 同伴プレーヤーのボールに当たった場合  
プレーヤーのボールが同伴者のボールに当たったときは、ボールの止まったところからプレーを続け、同伴プレーヤーのボールは元の位置にかえす。
- (12) 止まったボールが風によって動いた場合  
風によってボールが動いたら、動いて静止した場所からプレーする。なお、ホールポストに入った場合は「トマリ」とする。
- (13) 第1打がホールポストに入った場合（ホールインワン）  
1打目で「トマリ」となったときは、そのプレーヤーの合計打数から3打引いて計算する。
- (14) ゲーム中の判定  
ゲーム中の判定・スコア記入は基本的にプレーヤー自身が行う。ただし、判定が困難な場合は同伴プレーヤー及び競技役員の同意を求める。
- (15) プレーヤーの交代  
プレーヤーの交代は、ホール終了後に行うこととする。ただし、プレーヤーにやむを得ない事故等があった場合は、交代を認める。なお、同一プレーヤーの交代は2回までとする。